

「“本気”で語ろう会」 会議録

団体名	各串良地域活性化グループ
日時	平成 28 年 2 月 12 日（金）18 時 30 分から 20 時 20 分まで
場所	串良ふれあいセンター
参加者	各串良地域活性化グループ 12 名
	市長、串良総合支所長、地域政策課長、産業建設課長、市民生活課長、広報広聴課長
1	各グループの取組について
2	その他
<p>市長：先日、中央公民館の転勤奥様講座の方々と「本気で語ろう会」を開催したところ、鹿屋市は田舎と街が混在した、ちょうど住みやすいまちとの評価をいただき、メンバーの中には串良地域に済んでいるという方もおられた。</p> <p>合併してから 10 年経過したが、串良地域の魅力に我々も気付いていないかもしれない。平和公園、アリーナ、屋内練習場、串良のメインシンボルを何にしてまちづくりを行うのか、私も中タイメージが出てこない。今日は、皆さんと話してアイデアを出していきたい。</p> <p>また、先日、鹿屋市の 10 周年記念式典の中で、串良まちづくり戦略会議の取組を表彰（市民特別賞）した。私としては若い皆さんにエールを贈りたいので、皆さんの活動をお聞きする中で、どうしていけば良いのか意見を交換したい。</p> <p>～各グループより、それぞれの取組についてプレゼンあり～ （主な内容）</p> <p>1 串良がんばる会</p> <ul style="list-style-type: none">○平成 22 年に 16 名で立ち上げた。○串良まちづくり戦略会議と共に、高校卒業生をお祝いして送り出すイベント「串良人旅立ち式」を開催している。○各校区の問題を掲載した情報誌を作成、串良地域全戸と、関東・関西串良会等に配布を行った。○地域コミュニティに繋がる各種活動として、体育振興会・PTA 等と連携し、串良町内一周駅伝の実施に向け取り組んでいる。 <p>2 地域おこし戦隊 細山ライ田一</p> <ul style="list-style-type: none">○平成 26 年に発足し、自主財源をモットーに、夏祭りの復活や校区子ども会の設立、ライ田一旗中学生野球大会の開催など、子ども達の育成に取り組んでいる。○子ども会については、基本的に子ども達だけで運営し、子ども達から要望のあった必要な物品等を大人が準備している。○地元キャラクターである細山ライ田一を製作し、各種イベントに出演。細山田の知名度アップなどに貢献している。○子ども達が地元を誇りを持って育ってほしいので、各種の取組を通じて子ども達の育成に力を入れている。	

3 串良まちづくり戦略会議

- 前回の“本気”で語ろう会で、市長から「すべてのサービスがそこにあるより、周囲を巻き込んだほうが良いと」アドバイスされ、どうすればよいか考えた。
- ふれあいセンターでの宿泊受入の課題であった風呂が無いことについて、さくら温泉を利用することでクリアできた。また、行き帰りもバスを出してもらえるようになった。
- さくら温泉を利用することで、同時に夕食もとれるようになった。また、準備できる費用内で、食事のメニューも相談にのってもらえた。
- ふれあいセンター敷地内でのバーベキューを許可していただいた。利用者においては、合宿の最終日にバーベキューができることを大変喜ばれた。
- 毎年開催している小学生ドッジボール大会の案内に、東九州自動車道の地図をつけて発送した。県外からも来てくれる。将来的には一本立ちさせて、自主財源で取り組めるようになりたい。
- 串良人旅立ち式の開催

4 上小原ふるさとの会

- やねだんを基盤として、上小原の17の町内会で取り組んでいる。
- 「上小原さるく」「ほっとホット！とうがらし」「公民館リノベーション」「人・まちを知ろう」の各プロジェクトにより、地域の起爆剤となるよう取り組んでおり、地域住民の生き生きした姿を目指している。
- 県内で小さな犯罪がとても多い。防犯パトロールを実施したが、住民と一緒に防犯協会のような組織を作りたい。
- 「串良人旅立ち式」で花火をしてあげたい。そのための目標額は10万円であり、色々な形で盛り上げたい。また、上小原には2か所しかないが、棒踊りにも取り組んでいる。

市長：今、各団体からプレゼンを受けたが、それぞれの団体が子ども達に地域の良き伝統文化を引き継ぎたいという熱い思いを感じた。

串良地域においては、何を起爆剤とすべきなのか考えているが、例えば、今度バレーボールのVリーグ女子が平和公園に来ることになっており、2,000人程度の来鹿が期待できるので、地域の物産の販売など一緒に何かできれば良いなど考えている。

以前、東九州自動車道の開通記念式典で国や県からの来賓のおもてなしをどうしようかとなったとき、30人位の地元の方が、豚汁、猪汁、澱粉汁、生姜の漬物などを出していただき、大変喜ばれた。ここにしかないものでおもてなしをすれば、それが一番良いので、地域で接待して地域にお金を落してもらおうようなやり方を考えてみたい。

体育大学の自転車部がベンツ車をプレゼントされたが、たまたま知り合った繋がりでスポンサーとなってもらった。色々な出会いから生まれるものがあり、小さなふれあいから大きなものに繋がることもある。2020年には国体でバレーボールの成年女子が来る。宿泊の問題等もあるので、皆さんと連携しながら取り組み

たい。

また、やねだんに県外等から年間 5,000 人程来られるので、地域に何か還元できればと考えている。串良地域では地下壕の整備や星ヶ丘矢柄線の改良に取り組んでいるが、一気に仕上げる予定なので、色々な部分を皆で共有して分け合えればよいと考えている。

人口については、2010 年に 105,000 人であった人口が、今回の国勢調査で 1,300 人ほど減ると考えている。上小原などの家の建ち方を見ていると串良地域の人口は増えているかなと思っていたが、若い人たちが鹿屋地域に一極集中しているのか、鹿屋地域以外は人口が減っている。鹿屋の中で過密と過疎が広まっているので、上小原や細山田が鹿屋地域のベッドタウン的なまちになれば良いのかなとも考えている。

提案：農業をしている人たちの土地も多いので、そういった人たちが分譲地として売りに出せば、人の流れが違うものになるかと思う。

提案：細山田は、子ども達が遊ぶ場所が無い。平和公園は有るが、歩いていける公園が無いので親が自動車で連れて行かないといけない。ただ、そうなると買物等も含めて鹿屋地区の公園に連れて行くことになる。

回答：昔はどこで遊んでいたのか。

提案：自分は川や広場で遊んでいたが、今の子ども達は遊具がないと駄目。学校も昔は休日でも入れたが、今は土日は入れない。

回答：細山田分館では遊べないのか。

提案：遊具が無いので難しい。また、広場はあっても近隣に民家がないので、子ども達だけで遊ばせるのは怖い気がする。

提案：中学校の前にも敷地がある。土地の半分はからいもを作っているが、残りの部分にブランコでも作れたら良いのかなと思う。

回答：遊具を設置するにしても、設置場所はそれぞれの人に住んでいる場所によって言うことが違う。学校が使えれば一番良いと思うので、教育委員会にも確認してみる。皆さんの意見がまとまれば、どこかに遊具を設置するのも良いかもしれないので、意見がまとまったときは聞かせていただきたい。

提案：農業試験場の野球場やテニスコートも使えない。ものはあっても私達が使えない施設が多い。

提案：あそこは昔農業の研修に使っていた場所で、県の持ち物である。自分達で

きちんと管理するので、使わせてもらえればありがたいのだが。

回答：確かに農業試験場は県の持ち物だが、老朽化しており耐震性も無いのではないかと思う。試験場は金峰（南さつま市）に移転するというので、あの試験場が移転すれば使える大きな土地になるので、我々もしっかり目をつけておき、時が来れば市でも色々やりたいと考えている。県にも話を聞いてみたい。

また、皆さんのグループの取組において、行政の力を借りずに自力でやるというのは良いことだと思うが、地域の皆さんからは市ができる部分は市にやってもらえばよいという声もある。自由度の高い使いやすい補助金は使った方が良く思うし、積極的に取れるものは取っていただきたい。お互いに支え合えるように活用していただきたい。

提案：高速道路ができたことや体育館があることで、スポーツをするには良い場所だねという声を聞くし、串良にスポーツの県大会を持ってきてほしいという要望も聞く。市に相談したらやり様があるのかなと思うが、どうやって取り次げばよいのか。

回答：大会の誘致には、体育協会もあるので話をしないといけないが、大きな大会を実施できるかどうかについては、少しずつ誘致を重ねて、我々にはこれだけできるのだという部分を主催者側に見せないといけない。大きな志を持って、大会を取りに行くのは大事である。

提案：高速道路を降りてから平和公園までの看板が必要。色々な監督さんからも言われる。3か所位あれば良い。

回答：最近カーナビゲーションを使う人が多いが、よそから来る人には看板も必要なので、対応したい。

提案：教育や住宅など、鹿屋市の中でも一極集中となっている。この地に新たに住もうとする人がいたとしても、ネックは農業振興地域対策である。ベッドタウンという意味からも考えるべきで、戦略的に取り組まないといけない。

また、スポーツ振興等で民泊を進めるのは良いが、明日民泊に来るので町内放送してくださいと話が来ることがある。色々な人材もいるのでもっと包括的にやらないといけない。それから、民泊施設として空き家等も使っていくべきではないか。

回答：民泊については、毎年、中高生の教育旅行も増えているが、その時だけのお願いではなく、情報を出しながら民泊に対する意識も高めていかないといけない。教育旅行も、農家体験などで子ども達と一緒に食事を作りながら心からふれあえば、その後のつきあいにも繋がる。

空き家の再生についても取り組んでいるが、たまに宿泊に来た人を泊めるよう

な空き家は中々無いのが現状である。

回答（串良総合支所長）：空き家といっても、中に家財道具などがあり、使えない家も多い。武家屋敷や古民家といったものもあるが、地主さんたちとの協議も必要である。地域の中で良いものがあれば情報をいただきたい。

回答：国民体育大会に向けて指摘を受けたのは、アリーナの照明が足りないことで、これはLED照明に交換する必要がある。

宿泊者の受入体制も足りないので、民泊、ホームステイも含めて受け入れ先が増えてほしいと考えている。

話は変わるが、串良地域で驚いたことが、どこの神社も階段を登ることである。他の地域は、階段の無い神社が多い。

提案：串良は古墳が多いので、古墳の前が神社ということもあるのかもしれない。

回答：そういったことも、もしかすると串良地域の売りになるかもしれないので、色々と考えてみてほしい。

市長総括：皆さんには、日頃から地域づくりのための協議をしていただいております。感謝している。

このような活動は、長続きすることが大切なので、功を急がず気長に取り組んでほしいし、肩肘を張らずに自然体でいてほしい。

串良地域は伝統も歴史もあるし、人材も豊富なので、鹿屋を串良の地から盛り上げていただきたい。私達も努力していく。